

中国ブロック島根大会報告

中国ブロック長 野津博雄

第30回中国地区公立学校教頭会研究大会島根大会は10月23日に島根県隠岐の島町で開催予定であったが、町内の小中学校において新型インフルエンザの集団発生が確認され、学級閉鎖、学校閉鎖が相次ぎ大会運営及び大会参加が困難な状況となり中止するに至った。大会集録の作成については、島根県以外の4県については各県で開催された大会の提言分科会協議記録を掲載し、島根県においては12月10日に研究委員会を開催しその中で提言発表を行い、掲載することとした。現在大会集録の作成を進めているところである。

以下分科会提言内容は下記のとおりである。

〔第1分科会〕

- ・教頭としての学校評価結果をどう活用し、どう生かしていくか。
- ・コミュニティスクールの推進と教頭の役割

〔第2分科会〕

- ・児童・生徒の豊かな人間関係づくりと教頭の役割
- ・小中連携教育の在り方と教頭の役割

〔第3分科会〕

- ・地域に開かれた学校づくりをめざした取組における教頭の役割
- ・小学校から中学校へ、学びと心の円滑な接続を求めて

〔第4分科会〕

- ・児童・生徒の小学校から中学校への円滑な接続を促すための小中連携の在り方と教頭としてのかかわり
- ・教職員一人ひとりが参画し、協働し、貢献する学校運営づくり

〔第5分科会〕

- ・教職員の職務意識の高揚と資質向上をめざして
- ・教職員の資質向上を図るための教頭の役割

〔第6分科会〕

- ・小中一貫教育推進のための教頭の役割
- ・学校評価と教頭の役割

大会は開催することができなかったが、集録を全会員に配布し、各学校での取り組みに生かしていきたいと考えている。